

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38136
事業名	子どもの貧困対策推進費					
評価担当課	所 属	子)子ども育成 子どもの権利推			電話番号	011-211-2947
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	近年、困難を抱える子どもや家庭を取り巻く社会経済情勢は厳しさを増しており、困難を抱える家庭の孤立傾向や、問題の複雑化・長期化などの課題も顕在化している。今後、国の動向なども踏まえてこれらの課題に対応するため、札幌市子どもの貧困対策計画を策定し(令和5年度に第2次計画策定。計画期間:令和5年度～令和9年度)、札幌市の子どもの貧困対策を総合的・計画的に進めていくこととしている。 同計画の一事業として、困難を抱える子どもや家庭を早期に把握し、必要な支援につなげる子どものくらし支援コーディネート事業を実施している。					
	事業内容 (何を実施し)	①子どものくらし支援コーディネート事業 困難を抱えている子どもや家庭を早期に把握し、必要な支援につなげる「子どもコーディネーター」を配置しており、7名体制で市内全域の巡回・相談を継続実施(令和3年4月～)した。 また、認可外保育施設を対象に、本事業のニーズ調査を行い、一定の支援ニーズが確認された。 ②札幌市子どもの貧困対策計画の点検・評価、次期計画の策定業務 当該計画に掲げる事業の実施状況等について点検・評価を行ったほか、次期計画について、附属機関の審議及びパブリックコメントを経て策定した。					
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	子どもがその生まれ育った環境などに左右されることなく、毎日を安心して過ごしながらか、夢と希望をもって成長していくことができる社会の実現を目指す。					
	他都市の状況	①コーディネーター等を配置する類似事業としては、政令市では、千葉市、大阪市で実施。 ②政令市では、仙台市、千葉市、横浜市、浜松市、大阪市、熊本市が単独計画を策定(令和6年1月現在)。※浜松市、大阪市、熊本市は、令和7年度に市町村こども計画と一本化の予定。 その他13市は、子ども・子育てに関する総合計画の一部として策定。					
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 ■ 評価 □ 対象外					
令和4年度決算額		27,312 千円	うち特定財源	9,750 千円	正規職員業務量	1.8 人工	
令和5年度予算額		31,000 千円	うち特定財源	9,750 千円	正規職員業務量	1.8 人工	
令和5年度決算額		29,642 千円	うち特定財源	1,941 千円	正規職員業務量	1.8 人工	
令和6年度予算額		33,000 千円	うち特定財源	1,456 千円	正規職員業務量	1.8 人工	
指標	アウトプット 活動指標1	子どもコーディネーターの新規巡回箇所数(児童会館を除く累				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		165	295	209	235		
	↓						
	アウトカム 成果指標1	子どもコーディネーターの新規相談受理事件数(単年度)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		188	300	253	235		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は、コーディネーターの人員はそのままにニーズ調査による伸び率の算定が困難であったが、実績値は増加しており、支援の拡充を果たしているものと考えている。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
アウトカム 成果指標2	子どもコーディネーターの継続支援件数※年度末時点(単年				という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	584	700	376	400			
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	実績値は減少しているが、関係機関との役割分担・連携が強化されたことによって、ケースへの見守り体制が早期に整う事例が増えたものと考えている。						
今年度の見直し内容	①令和5年度に実施したニーズ調査結果を踏まえ、令和6年度から子どもコーディネーターの巡回を認可外保育施設へ拡大。②第5次さっぽろ子ども未来プランへの計画統合を検討する。						
来年度以降の方向性	①子どもコーディネーターによる支援体制を維持し、関係機関との一層の連携強化に取り組む。 ②計画掲載事業を所管する関係部局と連携し、計画の有効性・実効性を高める。						